令和４(2022) 年度　第４号　弥生

県児連通信

発行者　栃木県児童館連絡協議会
会長　大橋　珠恵
発行日　令和５(2023) 年3月２９日

うららかな春の日差しが心地よい季節となりました。感染が国内で初めて確認されてから約３年が経つ新型コロナウイルス。季節性インフルエンザなどと同じ「５類」に引き下げられる方針が決定し、新年度への準備に加え、各児童館では感染症対策の見直しや運営方法の改善などに試行錯誤されている日々かと思われます。

児童館職員の皆様におかれましては、今年度の当協議会各種事業へ協力いただきまして、誠にありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願いします。

とちぎのじどうかん展
「あおぞらじどうかん」開催しました

開催日
2023 年 2 月 23 日（木祝）
3 月 12 日（日）

例年２月に開催していた「じどうかんフェア」、その代替事業として開催していた「工作のテイクアウト feat. じどうかん」がボリュームアップして子ども総合科学館の屋外にて開かれました。

今回は「工作のテイクアウト」に加え、ミニゲームなどが体験できる「あそびのひろば mini」も展開。

「工作のテイクアウト」では、栃木県児童館連絡協議会加盟児童館から２１館が協力をし、各児童館スタッフが考えた工作キット１２００個と県児連加盟館チラシを配布し児童館 PR を行いました。

「あそびのひろば mini」では、協力児童館（２／２３：６館、３／１２：３館）スタッフが科学館に来館、子ども達に射的や碁石つまみなどのミニゲームや和太鼓体験教室などを開きました。３年ぶりに児童館スタッフと子ども達がふれあう機会となり、「児童館に遊びに行ってみたい」という声も聞かれました。

２日間あわせて延べ約１６００人の参加者が訪れ、会場内は子どもから大人までたくさんの家族連れの楽しそうな声で賑わいを見せ、児童館 PR の手応えを感じました。

今回ご参加いただいた各児童館の皆さま、お忙しい日々の業務を縫ってのご準備や当日の実施など、本当にありがとうございました。

会場の様子

「工作のテイクアウト」の様子

「あそびのひろば mini」の様子

今回配布した工作の見本や
ミニゲームの種類、
参加児童館については
科学館 HP からご覧いただけます。

https://t-csm.jp/diary/5177

「じどうかんですまいるきゃっち」ご協力ありがとうございます

県内各館より写真提供のご協力をいただいております児童館活動写真展。下記日程にて引き続き開催しておりますので、会場へお越しの際は是非ご覧ください。

●展示期間：
２０２２年１１月～２０２３年１０月
●展示場所：
栃木県子ども総合科学館　1F ホワイエ等
※展示観覧料は必要ありません。
●協力児童館：１０館

「第２回 県児連役員会」開催しました

●開催日：２月２１日（火）
●会　場：栃木県子ども総合科学館 会議室
●出席者：県児連役員７名　事務局員　２名
●内容：
・令和４年度の事業の進捗状況と決算見込みについての報告
・次年度の事業計画と予算案についての協議
・県児連表彰選考委員会：令和５年度の受賞者の選考をしました。
個人表彰：さくら３J ホール　高田成一氏
〃　石塚雄志氏
※表彰式は次年度の総会時に行います。受賞の皆さまおめでとうございます。

★令和5(2023)年度　県児連総会は、２０２３年4月２０日(木)の予定です。

各種研修会を開催しました

児童厚生員ブロック研修会／第１ブロック会場

ご担当いただきました館の皆さまにおかれましては、ご多用の中、細かいご配慮や当日の準備などありがとうございました。

●実施日：１月１９日（木）
●会　場：イケポス池田キッズハウス（矢板市子ども未来館）
●担　当：矢板市子ども未来館　　●参加者：１８名
●講　師：こども環境デザイン研究所代表・絵本作家　矢生 秀仁　先生
●内　容：「児童館の重要性とこれから～こどもたちが豊かに育つ遊びと環境作り～」
　子どもを取り巻く環境を整理して理解を深めた上で、児童館の重要性と役割を理解し、遊びの引き出しを増やして環境を整える大切さや「新聞遊び」などの実践方法を学びました。参加者からは「遊びに引き付ける力、保護者も取り組みながら子どもの力を引き出せるようにしていきたい」などの感想をいただきました。
●情報交換会：「児童館で人気のイベント」
　グループごとに、各児童館の人気のイベントについて情報交換を行いました。イベントの話だけでなく、感染症対策や利用者との関わりについての意見も多数交わされました。

県児連協力

児童館職員等研修

【演習 C】地域児童健全育成支援者研修会

●実施日：１月２４日（火）
●会　場：栃木県子ども総合科学館 多目的ホール
●参加者：２７名
●講　師：聖徳大学教育学部児童学科 准教授
　　神谷　明宏　先生
●内　容：「子どもたちがしあわせに育ち、
　　遊べる居場所づくり」

　児童館の機能・役割・その特性、ソーシャルワークの専門家として児童厚生員に期待される役割について学びました。その後のグループ活動では、『「こどもの居場所の課題」をふまえて、どのような対応ができるか』をまとめて発表しました。参加者からは「改めて児童館の大切さを考えさせていただいた」などの声をいただきました。

【演習 B】中堅職員研修会

●実施日：２月１７日（金）
●会　場：栃木県子ども総合科学館 多目的ホール
●参加者：２９名
●講　師：宇都宮市立富屋小学校 校長
　　五十嵐　市郎　先生
●内　容：「暮らしの中で育てる「非認知スキル」
　　～子どもの内面の育み方～」

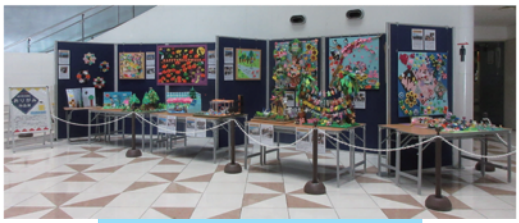
　非認知スキルとはどのような能力か知り、子どものもつその能力は大人たちの関わりによって育むことができる事を学びました。
　後半はグループワークを通して非認知スキルについて体験しながら楽しく学ぶことが出来ました。参加者からは「非認知スキルは子どもだけでなく、大人でも意識してほしい」「普段の生活や遊びが重要だと感じた」などの感想をいただきました。

「おりがみ作品展」開催しております

開催期間
2023年2月11日（土）
～4月16日（日）

期間延長となりました

　毎年恒例の「おりがみ作品展」。今年度は昨年度よりも５館多い、下記の１４館の児童館が参加してくださりました。テーマ部門「あそび」に８点、フリー部門に７点の計１５点の力作が並び、過去最多の出展数となりました。
　会場では「〇〇児童館の作品があるよ。」「おりがみでこんなことができるんだ。」などの声が聞かれました。
　趣向の凝らされたたくさんの作品を多くの来館者にご覧いただくため、開催期間を延長（３月１９日までを４月１６日までに）いたしました。お時間がありましたら、ぜひお越しください。


おりがみ作品展の全体の様子

展示中の作品は
科学館HPからも
ご覧いただけます。
https://t-csm.jp/diary/4955

★参加児童館（順不同）

南河内児童館、石橋児童館、国分寺東児童館、国分寺駅西児童館、国分寺姿西児童館（下野市）
にしこども館（足利市）、さくら３Ｊホール（栃木市）、清流児童館（日光市）、やわらぎ児童館（益子町）、壬生町児童館（壬生町）
かたおか児童館（矢板市）、児童館みんなのひろば、児童館きのこのもり（高根沢町）、栃木県子ども総合科学館（宇都宮市）

※作品の返却は次年度の総会時を予定しております。

お問い合せ先

栃木県児童館連絡協議会事務局（栃木県子ども総合科学館・育成課内）　　担当：髙野
ＴＥＬ：028－659－5555　　ＦＡＸ：028－659－5353　　編集・発行：武田